

向 学 ・ 自 立 ・ 共 生

校 長 佐久間 敦子

千葉県立松戸向陽高等学校の校訓は「向学・自立・共生」です。この三つは、私たちが目指す教育の大きな柱ですが、それと同時に生きていく上で目指したい指針でもあります。いくつになっても、人間である以上、自己の成長を目指して「学び」、しっかりと「自立」し続け、社会の中で多くの他者と「共生」していくことが重要です。

「学ぶ」ということは何も学問だけではありません。他の人の何気ない気遣いや、ちょっとした言葉にも学ぶことはあります。本や新聞、TV番組や映画からも、考えや見方を変えるきっかけをつかむこともあるでしょう。

「自立」は、自己確立です。自分という人間をまず理解すること、そしてその価値を自分自身が認めることです。“I am OK”ということです。自立した人間は“You are OK” 他者の価値も認められます。次に親からの精神的、経済的な自立を目指しましょう。そのために私たちは「働く」のです。

その上で、さらに大きなもの、様々な社会の価値観や意見からも常に自立している必要があります。私は、小学校の時、「どんなものも疑い、どんなものも信じなさい」という不思議な言葉で鍛えられました。優れた教師たちだったと思います。「皆が違うと言っても、自分が正しいと思う言動をしなさい」と教えられました。学級会はいつも活発で、皆が他者の意見を良く聞きメモを取り、自分の意見をはっきり伝える場でありました。考えや行動も自立していなければなりません。誰からも利用されない人間になるために。

「共生」は、否が応でも向き合わなければならないことです。必ずしも自分にとって理解しあえる関係でない多くの他者と私たちは常に関わりあって生きています。譲り合って、折り合いをつけていくために、自分と違う価値観や文化、状況を分かろうとする努力はしなければなりません。お互い様ですから。

生きること、働くことは大変なことも多いのですが、人のために役立っていると感じられる時もあれば、感謝されることもたまにあって、喜びを感じることも多いものです。自分らしく生きていくために、より適した職業に就くことが幸せにつながっていくと思います。皆さんが自分らしく生きていける方向を是非一緒に考えて、探していきましょう。

この『進路のしおり』が皆さんの生き方に関わって、進路決定に力を貸してくれるものと期待しています。